

第3学年 音楽科学習指導案

平成28年6月8日(水)第5校時

文京区立駕籠町小学校

第3学年1組 25名

学級担任 西 由香

指導者 金田 美奈子

1 題材名「リズムにのって、せりつとリズムばんそうを合わせよう」

2 題材の目標

リズムや旋律の反復や音の重なりを感じ取って、聴いたり演奏したりすることができる。

指導事項<学習指導要領の第3学年及び第3学年の内容より>

「A表現」(2) エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。

「B鑑賞」(1) イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。

〔共通事項〕ア (ア)リズム 旋律 (イ)反復

3 児童の実態と題材設定の理由

第3学年の児童は、昨年度より音楽専科が担当している。昨年度、リズムの学習は、和太鼓でのリズムづくり、「山のポルカ」のタンブリンとカスタネットによる伴奏リズムを経験している。このようなリズムを反復したり友達とリズムを組み合わせたたりする体験をとおして、旋律とリズムが重なることによるよさや面白さを感覚的につかむことはできるようになっている。しかし、音楽の特徴や音楽の仕組みに合った伴奏のリズムを工夫してつくる活動はまだ経験していない。

そこで、今回は「チャチャチャ」のリズムにのって旋律と和音、伴奏リズムを合わせることで、リズムや旋律の反復や音の重なりを感じ取ることができる活動を設定する。このような活動をとおしてリズムの反復や旋律とリズムの重なりなどの音楽を形づくっている要素に気付き、歌とリズム伴奏を合わせて演奏する楽しさを味わうことができると考え、本題材を設定した。

4 教材と使用音源

「まほうのチャチャチャ」(ホリン作曲)

「まほうのチャチャチャ」(和田崇作詞 ホリン作曲 和田崇編曲)

「まほうのチャチャチャ」の原題は「Milagros Del Cha Cha Cha」で、日本では「チャチャチャは素晴らしい」のタイトルでも知られている。8小節を1フレーズとした2種類の旋律から構成され、それぞれのフレーズを反復しながら進行する。旋律楽器に加えてラテン楽器が演奏され、掛け声や手拍子が入る部分もある。

チャチャチャは、1953年、作曲家でバイオリニストのエンリケ・ホリンが創始した。マンボから発展したダンス音楽で、主にチャランガ(フルート、ヴァイオリン、ピアノ、ベース、打楽器等による楽器編成)で演奏される。

5 題材の評価規準

	音楽への関心 ・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の評価規準	①旋律やリズムの反復や旋律とリズムの重なりによる曲想の変化を感じ取る活動にすすんで取り組もうとしている。 ②旋律とリズムを重ねて演奏する活動にすすんで取り組もうとしている。	①旋律やリズムの反復を知覚・感受している。 ②リズムの組合せをいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の考えや願い、意図をもっている。	①曲想にふさわしい表現で旋律の反復やリズム伴奏を演奏している。	①旋律やリズムの反復や旋律とリズムの重なりによる曲想の変化を感じ取り、そのことによるよさや面白さについて自分のことばでまとめている。

6 題材の学習指導計画（全4時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価（評価方法）
	<ねらい>旋律の反復やリズムを知覚・感受する。	
1	<p>○旋律、リズムの知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞曲「まほうのチャチャチャ」を聴く。 ・楽器を演奏する動きをしながら聴く。 ・旋律を口ずさみながら聴く。 ・打楽器のリズムを口ずさみながら聴く。 ・2つの旋律の曲想の違いについて気付いたことや感じたことを交流する。 ・打楽器が加わることによる曲想の変化について気付いたことを交流する。 <p>○旋律とリズムの重なりを知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を見て「まほうのチャチャチャ」を歌う。 ・重ねる旋律や打楽器のリズムを歌ったりリズム打ちをしたりする。 	<p>☆2つの旋律のリズムの特徴を感じ取ることができるようにするために、体を動かしながら聴く活動を設定する。</p> <p>☆拍の流れにのって正確にリズムを知覚できるようにするために、打楽器のリズムをオノマトペで表す活動を設定する。</p> <p>◆旋律やリズムの反復や旋律とリズムの重なりによる曲想の変化を感じ取る活動にすすんで取り組もうとしている。</p> <p>【関一①】（行動観察）</p> <p>☆旋律を歌いながら、曲想を感じ取る活動を設定する。</p> <p>☆2つの旋律の曲想の違いを板書で整理する。</p> <p>☆音楽を表す言葉が出てこない場合には教科書の巻末の「音楽を表すいろいろな言葉」を活用する。</p> <p>◆旋律とリズムを重ねて演奏する活動にすすんで取り組もうとしている。</p> <p>【関一②】（行動観察）</p>

<ねらい>旋律やリズムの反復を感じ取り、リズムの組合せを工夫しながら楽しく演奏する。

<p>2</p> <p>○旋律と楽器の奏法の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まほうのチャチャチャ」を歌う。 ・木琴、鉄琴、打楽器でリズムを反復して演奏する。 <p>○伴奏づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楽器を選んで1番の伴奏をつくる。 (1番：ア→イ→イ→ウ→ウ→ア) <p>3 本 時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イ」「ウ」の旋律に合ったリズムパターンを選び、そのリズムに合う打楽器で演奏する。 ・リズムの組合せを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・木琴か鉄琴、鍵盤楽器で重ねる旋律を演奏する。 ・つくった伴奏を交流する。 	<p>○旋律と楽器の奏法の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まほうのチャチャチャ」を歌う。 ・木琴、鉄琴、打楽器でリズムを反復して演奏する。 <p>○伴奏づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楽器を選んで1番の伴奏をつくる。 (1番：ア→イ→イ→ウ→ウ→ア) <ul style="list-style-type: none"> ・「イ」「ウ」の旋律に合ったリズムパターンを選び、そのリズムに合う打楽器で演奏する。 ・リズムの組合せを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・木琴か鉄琴、鍵盤楽器で重ねる旋律を演奏する。 ・つくった伴奏を交流する。 	<p>☆チャチャチャのリズムを感じながらリズムパターンを反復することができるようにするために、電子楽器のリズムに合わせて演奏する活動を設定する。</p> <p>☆ラテン楽器の奏法をていねいに指導する。</p> <p>☆正確に演奏することができるようにやさしいリズムパターンで演奏する場を設定する。</p> <p>◆旋律やリズムの反復を知覚・感受している。</p> <p>【創一①】 (演奏表現)</p> <p>☆単純なリズムパターンを数種類提示し、その中から選んだり音を増やしたり減らしたりして伴奏のリズムをつくることができるようにする。</p> <p>☆鑑賞の時に曲想について感じたことを思い出しながら選ぶよう助言する。</p> <p>☆友達につくった伴奏と自分のつくった伴奏とを比べながら聴いたり歌と合わせて楽しんだりする場を設定する。</p> <p>◆リズムの組合せをいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の考えや願い、意図をもっている。</p> <p>【創一②】 (行動観察・学習カード)</p>
---	---	--

<ねらい>旋律とリズムの重なりによるよさや面白さについて、自分のことばでまとめている。

<p>4</p> <p>○楽曲全体についての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにつくった伴奏リズムにのって全員で「魔法のチャチャチャ」を歌う。 ・鑑賞曲「まほうのチャチャチャ」をもう一度聴き、この曲のよさや面白さについて4年生に伝える紹介文を書く。 	<p>○楽曲全体についての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにつくった伴奏リズムにのって全員で「魔法のチャチャチャ」を歌う。 ・鑑賞曲「まほうのチャチャチャ」をもう一度聴き、この曲のよさや面白さについて4年生に伝える紹介文を書く。 	<p>◆曲想にふさわしい表現で旋律の反復やリズム伴奏を演奏している。</p> <p>【技一①】 (演奏表現)</p> <p>☆演奏した経験を踏まえて音楽の構造にも触れながら紹介文を書くよう助言する。</p> <p>◆旋律やリズムの反復や旋律とリズムの重なりによる曲想の変化を感じ取り、そのことによるよさや面白さについて自分のことばでまとめている。【鑑一①】 (学習カード)</p>
--	---	--

7 本時の学習(3 / 4 時間)

(1)ねらい リズムの組合せを工夫して演奏する。

(2)学習の展開

○学習内容	・学習活動	☆教師の支援 ◆評価 【評価項目】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・チャチャチャのリズムで言葉リレーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆チャチャチャのリズムによって2分音符や4分音符、4分休符の感じをつかむことができるような活動を設定する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">楽器の組合せをくふうして ばんそうをつくろう</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・「まほうのチャチャチャ」を歌う。 <p>○伴奏づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楽器を選んで1番の伴奏をつくる。 (1番：ア→イ→イ→ウ→ウ→ア) ・「イ」「ウ」の旋律に合ったリズムパターンを選び、そのリズムに合う打楽器を選んで演奏する。 ・木琴か鉄琴、鍵盤楽器で重ねる旋律を演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・つくった伴奏を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆単純なリズムパターンを数種類提示し、その中から選んだり音を増やしたり減らしたりして伴奏のリズムをつくるようにする。 ☆鑑賞の時に曲想について感じたことを思い出しながら選ぶよう助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ☆友達のつくった伴奏と自分のつくった伴奏とを比べながら聴いたり歌と合わせて楽しんだりする場を設定する。 ◆リズムの組合せをいろいろと試し、どのような伴奏にするかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 <p>【創一②】 (行動観察・学習カード)</p>	
<p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 		